



つまごいむら

農業委員会だより

第39号

平成26年3月15日

編集・発行／嬬恋村農業委員会

☎0279-96-1256



浅間山



嬬恋村農業委員会

会長 小嶋 良一

農業委員会だより発行にあたり

日頃は、農業委員会活動に対しましてご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。2月14日から15日にかけては記録的な大雪となり、村内においても農業用ハウスなどが多大な被害を受けておりま

す。今後の復旧、農業への影響が懸念されるところであります。ですが、先ずは、被害に遭われました方々へお見舞いを申し上げます。

さて、本年度を振り返りますと、まず異常気象が思いあたり、夏前の低温・乾燥、少雨が農作物に影響を与えました年でした。そのような状況で、豊作とはいかないまでも、平年作を維持できたことは、農業者皆様方の日頃の努力の賜物と思ております。また、嬬恋村の野菜の価格が、初出荷から最後まで高値圏で

推移し、嬬恋村にとっては良い年となりました。平成26年度も良い年でありますようお願いいたします。

平成26年度は、農地集積・荒廃農地対策等のため新たに農地中間管理機構が県単位で創設されます。最近、農業委員会には、農地に太陽光発電設備を設置することができるかどうかの問い合わせが増加しております。また、国の農政改革による水田の減反の見直し、TPP参加交渉、鳥獣害対策などが、嬬恋村の農業にどのような影響を与えるのか、農業委員会として皆様方が多くの情報を伝えられるよう努力していくたいと思いま

す。同時に、農地制度の適正化

な執行、農地パトロールの実

施や農業委員会活動の「見え

ること」としてあります。

昨年末、国の掲げる「男女

共同参画基本計画（第2次）

などにより、ぐんま農村女性

会議の鈴木春美会長及び、あ

がつま農村女性会議の石井た

い子会長から、女性農業者の

農業委員登用に関する要望が

ありました。嬬恋村では現在、

2人の女性農業委員が活躍し

存でございます。

7月には、農業委員の改選

が行われます。任期も残りわ

ずかとなりましたが、嬬恋村

の農業の発展のために、委員

が一丸となり頑張っていく所

存でございます。



大雪のため倒壊したハウス

農業委員会では、農地の所有権移転・利用権の設定・転用・荒廃農地対策などの業務を行っています。農地に関するこ

とにつきましては、お近くの農業委員に気軽にご相談ください。

7月には、農業委員の改選が行われます。任期も残りわずかとなりましたが、嬬恋村の農業の発展のために、委員が一丸となり頑張っていく所存でございます。

途上国の活気に触れて

ミャンマー海外研修



農業委員 佐藤 光成

えを受け、夕食後ホテルに向かいました。



シュエズィゴン・パゴダ寺院にて

ミャンマーの面積は日本の約3年の最後の年に当たる、海外研修でミャンマーを観察してきました。出発は1月19日朝4時、空路約7時間で現地の17時半頃ヤンゴンミンガラード空港に着き、現地通訳モーさんの出迎えを受けています。

ミャンマーの面積は日本の1・8倍、人口は6300万人、通貨はチャヤッドと米ドルです。一般的な月給は、都会では10万チャヤッド地方で5万チャヤッド、日本円で1万円から5千円と開発途上であります。

都会のヤンゴン（戦いを止める意味）は車が溢れ、建設が始まったばかりの高速道路は日本の中古車が目立ちました。車の看板などは消さないということです。なぜならば、日本車の証明でもあるからです。社会インフラはまだ遅れていて、50年前の日本よりも、次の日空

道路は日本の中古車が目立つようになりました。車の看板などは消さないということです。なぜならば、日本車の証明でもあるからです。社会インフラはまだ遅れていて、50年前の日本よりも、次の日空



研修のようす

学校に行けない子供に何かをしてあげたい気持ちになりました。最後に、この研修にあたりお世話になりました皆様にお礼申し上げ、報告とさせていただきます。

最初の滞在地ヤンゴンでは日本車の多いことに驚きました。ミャンマーの平均寿命は男性が60歳、女性は65歳と聞いて更に驚きました。



果樹栽培

海外視察研修を終えて



農業委員 南波 節子

1月19日朝4時発

世界3大仏教遺跡のひとつ

路北のバガンへ。ここは大小の寺院が多く周囲は畑が大半です。

訪問したニヤウン町農業省の寺院が多く周囲は畑が大半です。

では、マンゴー、ライムなど6種類の果樹を栽培し苗木も隣国に輸出や出荷し、7~9名の職員と作業者20人で管理運営しています。農作業している人はあまり見られず、機械は非常に古く数も少ないようです。興味のあつた給料の話でスカートのように巻き付け、

1月は乾季で朝夕は涼しく長袖、日中は半袖という陽気でした。ミャンマーでは、ロンジーという筒状の大きな布を

本企業の協力もあるそうですが、育苗などを見学しました。

施設の運営は、ジャイカや日本公務員の月給は、日本円で1万5000円~1万円、草日給200円だそうです。

ミャンマーは民主化され急速に政治改革、経済改革が進み、5年10年後は大きく変わっていると思いますが、今まで遅れていた、自分達の生活や日本を見つめ直すことができた研修旅

行でもありました。

農地の貸し借りの新しい仕組み

農地中間管理機構とは

農地中間管理機構は、都道府県に1つ設置され、農地を貸したい人から農地を預かります。また、農地の借受け希望者を公募し、公平かつ適正に貸付などの業務を行い、農地の有効利用、農業経営の効率化、コストの削減などを目的とします。

(下の図は、平成26年1月20日現在の情報に基づいて作成しています)

機構に農地を貸す場合の流れ(概要)



農地を
貸したい
人は

どう
する?



ステップ①

農地中間管理機構または市町村等の相談窓口に連絡します。

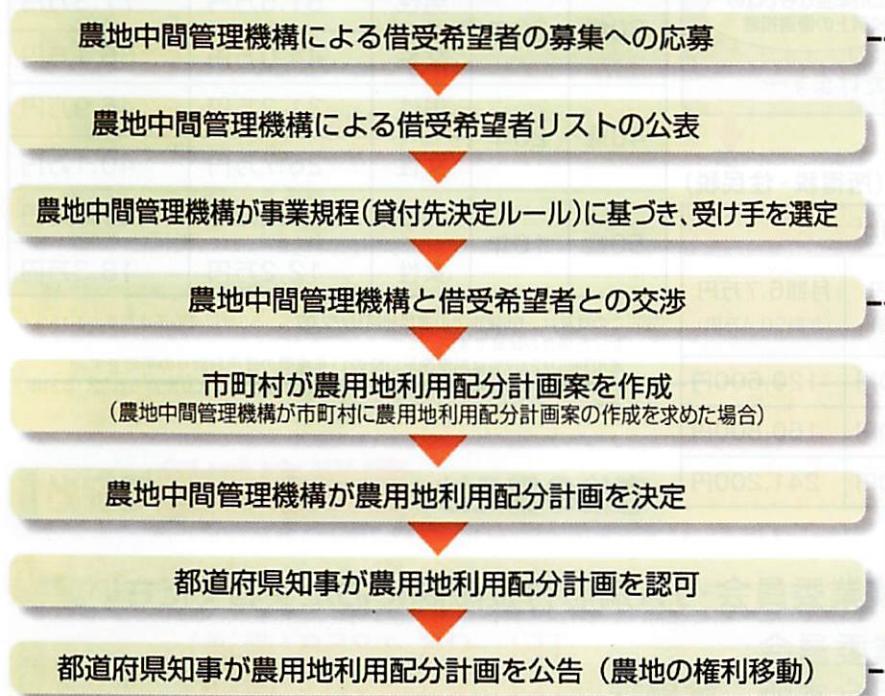
ステップ②

農地中間管理機構(または委託を受けた市町村等)と期間、賃料等の諸条件を相談し、契約します(機構に貸借に係る権利が移動します)。

ステップ③

受け手が、まとまりある形で農地を利用できるよう、必要に応じて農地中間管理機構が条件整備等をします。

機構に農地を借りる場合の流れ(概要)



農地を
借りたい
人は

どう
する?



ステップ①

農地中間管理機構による借受希望者の募集に応募します(必須です)。

ステップ②

農地中間管理機構と期間、賃料等の諸条件を相談します。

ステップ③

農地の貸借が記載された農用地利用配分計画が公告されると、借受希望者が農地の貸借に係る権利が移動します。

国が支える 安心が大きくなる

担い手積立年金

農業者の皆さん、老後の備えは万全ですか？ (愛称)

老後生活はこんなに長い！

65歳からの平均余命は…

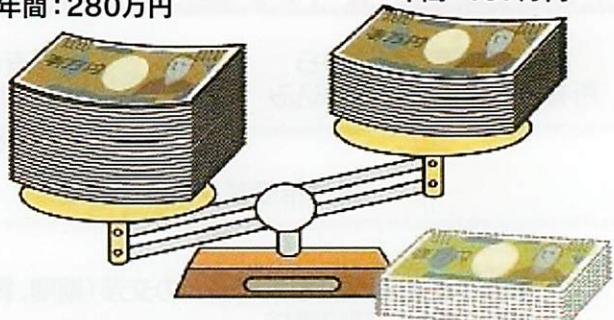


老後生活はこんなにお金かかる！

夫婦2人の場合

老後の生活費
年間：280万円

国民年金だけでは…
年間：157万円



年間123万円（一ヶ月あたり約10万円）不足

豊かな老後生活のためには国民年金では十分とは言えません

農業者年金に加入して豊かな老後を迎えましょう

保険料は2万円～6.7万円まで自由に選べます

農業者年金のメリット

- 少子・高齢時代に強い積立方式の年金！
- 終身年金で80歳までの保証付き！
- 支払った保険料全額社会保険料控除！
- 手厚い政策支援！
保険料に国庫補助も

～農業者の方なら広くご加入いただけます～

公的年金ならではの
税制上の優遇措置

○農業者年金の年金額の試算

加入年齢	納付期間	性別	試算年金額(年額)	
			保険料2万円	保険料3万円
20歳	40年	男性	75.7万円	113.5万円
		女性	64.7万円	97.0万円
30歳	30年	男性	51.5万円	77.3万円
		女性	44.0万円	66.1万円
40歳	20年	男性	31.2万円	46.9万円
		女性	26.7万円	40.1万円
50歳	10年	男性	14.2万円	21.4万円
		女性	12.2万円	18.3万円

(注) この試算は、65歳までの運用利回りが2.07%、55歳以降の予定期率が1.15%となった場合の試算です。

運用利回り2.07%は制度発足以降の11年度間の運用利回りの平均です。
予定期率1.15%は農林水産省告示（H25.4.1施行）により定められている利率です。

老後の備えは、農業者年金で安心！

(注) 各欄の金額が節税効果で、保険料支払後も適用される
税率に変動のないものとして試算しています。

お問い合わせは嬬恋村農業委員会・JA嬬恋村金融課におたずねください。

嬬恋村農業委員会
嬬恋村農業協同組合本所 金融課

TEL 96-1256(直通)
TEL 80-6101(直通)